

財団法人長崎アイバンク 平成 23 年度事業報告

1) 登録者:平成 23 年度は 457 名の純増があったので、合計は 15,811 名である。

2) 摘出角膜・眼球について

(1) 摘出角膜利用状況は以下のとおりである。

献眼者数	45 名
摘出角膜数	87 眼
移植利用角膜数	29 眼
保存眼数 (表層移植用)	47 眼

※ 20 眼は感染症検査陽性で利用不可等のため廃棄処分にした。

(2) 現在の長崎県の角膜移植待機患者数は、

長崎大学病院	19 名
国立長崎医療センター	0 名
佐世保市立総合病院	0 名
N T T 西日本長崎病院	0 名

の計 19 名である。

3) 角膜の広域あっせんについて

他アイバンクへ 2 眼の角膜をあっせんした。

久留米大学アイバンク 2 眼

4) 会議

(1) 長崎アイバンク理事会・評議員会

平成 23 年 5 月 22 日 ホテルニュー長崎

(2) 第 33 回 九州各県アイバンク連絡協議会

平成 23 年 7 月 15 日 東京 (浜崎・富光)

(3) 第 34 回 全国アイバンク連絡協議会

平成 23 年 7 月 15 日 東京 (浜崎・富光)

(4) 第 22 回 アイバンクワークショップセミナー

平成 23 年 7 月 16 日 東京 (浜崎・富光)

(5)第 23 回 アイバンクワークショップセミナー

平成 24 年 2 月 25 日 東京（浜崎）

5) 厚生労働大臣の献眼者に対する表彰について

厚生労働大臣の献眼者に対する表彰者は 45 名である。

6) 普及啓発活動

(1)平成 23 年 7 月 23 日

嬉野市公会堂にてライオンズクラブ 337-C 地区 献血・献眼・献腎推進正副委員会が開催され、理事長 北岡 隆が「眼の加齢と人工臓器・再生医療」について講演した。

(2)平成 23 年 10 月 2 日

諫早市、大村市、東彼杵郡のアイバンク登録者を対象に目の愛護デー無料検診が行われ、48 名が受診した。

於：健保諫早総合病院眼科外来 主催：長崎県眼科医会、長崎アイバンク